

ソーシャルメディアポリシー

ソーシャルメディアポリシー（以下、「本ポリシー」という。）は、アイングループ（以下、「当社グループ」という。）の全役員・従業員（以下、「役職員」という。）に対し、ソーシャルメディアを利用するうえでの基本方針を示したものです。

ソーシャルメディアは、個人、企業を問わず欠かすことのできない重要な情報手段であり、ステークホルダーとの関係を強化する有効な手段である一方、不正確な情報発信等の誤った使用方法によって、当社グループ及びステークホルダーにとって不利益が発生する場合があります。そのため、ソーシャルメディアを適切に利用し、その有用性を十分に活かすことを目的とし、ソーシャルメディアの利用において当社グループの役職員が特に留意すべき事項を定めました。

第1条（ソーシャルメディアの定義）

ソーシャルメディアとは、インターネット上で情報の発信、双方向のやり取りができるメディアと定義しています。

ソーシャル・ネットワーキング・サービスの代表的な、X、Facebook、Instagram、YouTube、TikTok、LINE、及びブログ・掲示板等が該当します。

第2条（基本方針）

当社グループの役職員は、ソーシャルメディアの利用にあたって、各種法令及び関連規定を遵守し、ソーシャルメディアの特性を理解し、発信がすべてのステークホルダーの不利益にならないように心がけ、透明性が高く、良質なコミュニケーションを行うことを心がけます。

1. 自覚と責任を持つ

自身の発信が影響を持つことを意識し、当社グループの役職員であることを自覚するとともに、発信に対する責任を持ちます。また健全な社会的良識に逸脱しないよう、誠実な態度でのコミュニケーションに努めます。

2. ソーシャルメディアの特徴を認識し、慎重な発信や反応を心がける

不特定多数が容易にアクセス可能なこと、瞬時に拡散し完全に削除することはできないことを理解し、発信や反応をします。

3. 法令及び社内規定を遵守する

ソーシャルメディアの利用及び情報発信は、当社グループの定める社内規定に則り、個人情報保護法や著作権法等の関連する法令や社会規範を遵守して行います。

4. 個人情報、機密情報を保護する

守秘義務に従い、業務上知り得た機密情報は一切公開しないことはもちろん、個人情報やプライバシーに関する情報等の発信は、一切行いません。

5. 誤解を与える情報発信をしない

発信する情報は正確に記述をするとともに、内容について誤解をまねかないように留意します。

6. 相手・第三者を尊重する

著作権、肖像権、商標権等の第三者の権利を尊重するとともに、相手の発言を傾聴する姿勢を持ちます。

7. 間違いを認め誠実に対応する

自らが発信した情報により他者を傷つけた場合や誤解を生じさせた場合には、誠実に対応するとともに、正しく理解されるよう努めます。

附則

本ポリシーは予告なく変更され、当社グループウェブサイトから公開時点から効力を生じます。なお、各ソーシャルメディアで発信される全ての情報と、そこでのやり取りの内容は日本法に準拠します。

改定日：2026年6月1日

制定日：2013年7月8日